

# 第 22 回 下呂市上下水道運営委員会

( 概 要 版 )

令 和 4 年 4 月 2 2 日

下呂市役所 環境水道部 上下水道課

## 第 22 回 下呂市上下水道運営委員会 会議録

【日時】 令和 4 年 4 月 22 日 金曜日 13 時 30 分から 15 時 10 分まで

【場所】 下呂市役所 下呂庁舎 3-1 会議室

- 【次第】
- 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 議 題
    - ① 下水道料金算定について
    - ② 次回の運営委員会について
    - ③ 運営委員の補充について
  - 4 閉 会

【出席者】 < 委員 >

伊東 祐	☆会長	田口 昇	(環境水道部長)
鈴木 裕識	☆学識経験者	今村 正直	(次長兼上下水道課長)
内木 孝之		谷田部 武一	(上下水道課 下水道係長)
熊崎 武司		庄田 剛	(上下水道課 水道係長)
福永 和也			
今井 美佐子			
野村 勝			
高木 祥子			
高井 範和			

< 事務局 >

【欠席者】 < 委員 >

二村 チズ子	☆副会長
岡田 佳香	
森 哲男	

【欠 員】 吉川 俊行 (死亡)

## 【議事等の摘要】

### 1. 開 会

○事務局 資料に基づき説明

(田口環境水道部長)

環境水道部長の田口です。伊東会長、岐阜大学の鈴木先生をはじめ委員の皆様ご出席ありがとうございます。

令和4年度は生活部から環境水道部となり、上下水道課の事務所は、下呂庁舎から料金センターに移りました。私はクリーンセンターにおりますので、よろしくお願いいたします。

持続可能な運営を目指し、責任をもって次の世代に引き継ぐことが重要となっております。皆様からご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(今村次長兼上下水道課長)

4月の人事異動によりこの4名が事務局となりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまより第22回下呂市上下水道運営委員会を開催します。議題に先立ちまして、会長よりひとことご挨拶をいただきます。

### 2. 会長あいさつ

皆さんこんにちは。

鈴木先生初め皆様方にはお忙しい中を、ご出席していただきまして、誠にありがとうございました。

先ほどの部長の挨拶でもありましたけども、この委員会も昨年の10月に新メンバーで発足し通算すると第20回になったかと思えますけど、この会でスタートしまして、11月に2回目を開催して以来、コロナの影響で延期を重ね、4月ようやく今回3回目を開催する運びとなりましたけれども、この間に約4ヵ月間空白がありましたので、委員だったということも忘れてしまうくらいで、中身も今までどういったことをやってきたかも薄れてしまったので、どうかその辺のことも今日は事務局の方で、ちょっと何ていうか、カバーしていただくようしていただき、配慮していただきたいなと思います。

そしてこの4ヵ月間に組織も変更されました。先ほど話があったとおりですし、吉川委員も亡くなったというようなことで内部的にも大きな動きがあったかと思えますけども、この上下水道も先ほど話がありましたけども、料金の設定なんかにつ

いても、結局かかる税金等の裏腹というか、水道が安ければ税金上げないといけな  
いというような難しい問題があるかと思えますけど、どっちにしても我々市民の生  
活に直結する、本当に一番大事なインフラ事業ですので、その辺のことは皆様方も  
十分わかっておられると思えますけれども、その辺を加味しながら、今後進めてい  
きたいなと思えますので、よろしく願いをいたします。

### 3. 議 題

#### ① 下水道料金算定について

##### ●事務局 資料に基づき説明

〈質疑応答〉

##### ○委員

今の説明は下水道の説明だけれども、下水道を引いてないところは結局関係ない  
ってことかな。

##### ●回答

そうです。下水道が整備されてないところには関係ないです。

##### ○委員

そっちは値上がりはしないけれども、税金で賄っているということかな。

##### ●回答

下水道が整備されてないところは、簡単に言いますと下呂市は関係がなく、その  
方々が直接、合併浄化槽のお金を負担していただいているということで、この税金  
は当初設置する部分には補助金が出ますが、基本的運用に関しては一切下呂市もお  
金は出していません。

##### ○委員

維持管理費の中で、合併浄化槽への転換費というのが見積もられていますけれ  
ども、具体的にこれはどういったお金になるのですか。

●回答

前も説明したとおりで、やはり運営していくためにはまず収入を上げるということと支出を抑えるということが大事になります。支出の中で大きいのが、やはり下水道の処理施設とか管路の維持管理費になります。これらを何とか削減するためには、今ある下水道施設そのものを取りやめるという方法が1番いいというところで判断させていただいて、下水道がなくなるわけですから、その方々の排水処理をどうするかということ考えたときに、合併浄化槽の設置をしようと考えました。設置は下呂市でやりますが、その後の維持管理はそれぞれのご家庭でやっていただくことで考えております。

ご質問にあったとおり、最初の設置部分は業者がやりますが残りはそれぞれのご家庭で費用は持っていただくことで、下呂市はその時点でノータッチとなり、その分の経費を抑えようという考えで、それがこの合併浄化槽への転換費用というところで試算をしておるところです。

○委員

質問の意図は、設置にかかる経費が主であるとの金額の思いであるというところで、従来下水道が布設されてないところでの合併浄化槽の利用者は、実際その合併浄化槽を運用し始めるときに、そのコストは負担してきていなかったってということになるのでしょうか。設置をするに当たってのコストはそのときも下呂市が負担してきたということでしょうか。

●回答

今現在の下水道未整備の地区、その方々については、全額ではありませんが個人負担はございます。

○委員

それに代わってというか今回下水道が既に普及している地域に対してそれを切替えていくという負担金に関しては、そのお金は全て市が負担することになるということでしょうか。

●回答

そういう計画です。

○委員

合併浄化槽に切り替えるに当たる費用の全額じゃなしに、一部が補助されるってことですね。

●回答

今の下水道区域で下水道に繋いでいる方が、今市の施策で合併浄化槽に切り替える場合は、全て下呂市で負担をさせていただくという計画でございます。その費用が今この合併浄化槽への転換費ということになっております。

ですので、今下水道区域でない地域、例えば山之口ですとか馬瀬地域については、そもそも下水道がないというところですので、こういうところで合併浄化槽を新たに設置しようと思うと、自費の持ち出しプラス補助金でやっているのですが、下水道区域に関しては、市の方針として切り替えるわけですから、負担は全て下呂市で負担をさせていただきたいという計画でございます。

○委員

現在下水道を引いている地域を合併槽に切り替える計画なの。そんなに何下水道は費用がかかるの。合併槽にしたほうが大分安くなるということなのか。

●回答

単純に下水で公共枵一つつけるのと、合併浄化槽を新たにつけるのでは合併浄化槽にしたほうが費用はかかります。

○委員

現在もやっているところを切り替えるということか。

●回答

そうです。

○委員

だからもはやそんな作る必要ないのではないか。現在あるのだから。

現在の維持コストと比べてでないの。現在の維持コストを維持するよりも、合併槽に切り替えたほうが、経費が安く済むという理解で我々は今話聞いてそう思ったのだけど、そういう解釈でいいの。

●回答

下水道の施設がなくなるわけですから、合併浄化槽に切り替えていただければ、その分今ここで見ていただいた下水道会計は、それだけの負担がなくなるということです。

○委員

今ある施設を更新するのにそんなにもお金がかかるのか、その辺がちょっとよくわからん。

あるやつを今から新設するならわかるよ。新設するより合併槽にしたほうがいいということは。今あるものをわざわざ合併槽に切り替えなくてもそのままいけるのではないかと思うけども、そんなに下水道は費用がかかるのかなと思うだけ。

●回答

今ある施設を維持していこうと思うと大変お金がかかります。

○委員

それはわかる。

●回答

今年から幸田浄化センターというのを耐震化しますし、処理場の耐震化というのがこれから出てきますし、中にある機械設備等々も更新していかなきゃいけませんので、合併浄化槽に切り替えたほうが、維持管理としては安くなるという試算をして今切り替える方向で考えております。

○委員

地域の住民の人にとっては何というかな、不便というかそういうことはどうなの。快適性の面でそんなことをしたら困るとかいろいろな、何か言い方がおかしいけどもその辺は大丈夫。

●回答

それは今から説明をしていくところになります。今下水を合併浄化槽に切り替えるということになるので、何か後退するような、昔に戻るような考えが多分あるかと思うのですが、それは問題なくて水質等もちゃんとしたもので処理して合併浄化槽は出しておりますので、いわゆる集合排水といっているような家の排水を集めたも

のを処理場で処理をして流していますが、そういう処理場が各家庭に 1 個ずつ設置されるといように考えていただければわかりやすく、水質等が問題になるということはないと考えております。

○委員

そうした場合に今までみたいな、くみ取りもいるよな。合併浄化槽でもいるんだよね。

●回答

そうですね、下水と違うのは今言われたように、その清掃やくみ取りでバキュームカーが来なかった地域に来るようになるということと、あとは、合併浄化槽はブローという機械をずっと動かすので、下水道の時にはなかった電気代が多少はかかるぐらいのことかと思えます。

○委員

維持管理については、年間契約で全部業者さんにやってもらっておりますので、留守でもやってくれるし、特に困ったことはないです。

ただ思うには、これだけ広い面積の下呂市なので、すべての各家庭を管で繋いでいることは、すごく不採算というか不都合なところがいっぱいあるんじゃないかと思えます。前貰った資料ありますけどやっぱり不採算のところは工夫してやっていくことが大事じゃないかなと思えますし、私は合併浄化槽ですが特に不便は感じておりません。

○委員

下呂の下水道管だけで、東京行くぐらいの距離を全部やると約 500 キロメートルやったかな。

●回答

それは水道です。下水道管は 398.9 キロメートルです。

○委員

合併浄化槽を使っていますけど、今言われたように不便はないです。

結局年 2 回やったかな、さっき言われたバキュームカーが来て掃除するんですけど、それにお金が必要なので、ちょっと金額忘れちゃったけど、何千じゃないお金がか

かるんで、普通の使用料プラスにはなると思うんですけど。

さっきの質問で合併浄化槽に変えた場合に、市の施設が下水施設を使わなくなるのでという、その施設っていうのはさっき下水処理場みたいな割と大きな施設をイメージされていたんですけど、ということはもうその集落の1軒2軒が賛同してくれても意味がないっていうことですよ。

前どっかで説明があったかなと思いますけど、仮に99%賛成しても、1軒だけ嫌だって言われれば、下水施設は残るわけで意味をなさなくていうそういうことですよ。極端な例ですけど。

#### ●回答

おっしゃるとおりです。その地区で今下水道を利用されている方全てが切り替わらない限り下水の処理場は残ってしまいます。そこは何とか説明をして、全ての方に合併浄化槽に切り替えていただくと、1軒でも残れば処理場は残ってしまいますので、そこは何とか根気よく説明をするしかないと思っております。

#### ○委員

ちょっと場所の説明前ありましたっけ。何箇所か候補があるんですけど。

言えないか。どれぐらいの金額メリットが出るんですかね。その地域にもよるかもしれないですけど。

#### ●回答

具体的な数字はちょっと今持ち合わせておりませんが、最初この算定期間中はどうしても、合併処理浄化槽への転換費用がかさみますので、この期間はかなり下水道事業会計も厳しい状態が続きますが、これを過ぎればそのなくした処理場の経費というのは全部なくなるということで、20年30年先を見れば、プラスに転じるという試算はしております。

#### ○委員

ただその浄化槽に転換した先の新しく設置した浄化槽も、20年30年40年と経ったときに、また更新が必要になってくるかと思えます。そのときの費用はもう設置者の費用負担になるのだとすると、その下水道としての遠い未来へのコストと、浄化槽設置者の未来のコストは、実は同等なんじゃないかという考え方もあると思うんですけどもそれはいかがでしょうか。

●回答

基本的にはこちらで設置した浄化槽の維持管理は全て、その方々に行っていただくと、何年か後にまた更新をする、合併浄化槽を更新する場合は、合併浄化槽区域の方にもやっていただいているように、一応補助金をもって更新をしていただくというところで、お願いをしていこうと思っております。

費用的にはちょっとそこまでまだ計算はしておりません。

○委員

ちょっと個人的になんですけど、合併浄化槽以降は市の管理っていうことですね現状も。家から合併浄化槽まではその家のものです。

●回答

合併浄化槽は全て個人管理で現在も個人管理です。

○委員

合併浄化槽からその次のところまでの排水っていうか、その間は市の持ち物ということですか。

●回答

これは個人です。

○委員

個人はどこまでが個人なのか。家から合併浄化槽までは当然個人ですけど、その合併浄化槽からその先も個人なのですか。

○委員

家から近くの排水路までが個人ですよ。

○委員

谷とか川まで。あそこまでが全部。

○委員

補足しますと、公共用水域に直接、各戸から排水を処理して出しているというそういう格好になります。そういうことなので、浄化槽は、法律で決められていて法

定検査をしっかりとして水質が保たれていることを担保しなきゃいけないということになっていて、何で清掃しているだけでというふうに認識されているかもしれないですけど、法定検査で水質が担保されることも業者が確認をしてやっております。

その上でちょっと、あわせて質問なんですが、下呂市のその浄化槽等の管理者っていうのは、今回の方針に合わせてしっかりその業務を担えるだけの、余力能力はあるんでしょうか。

#### ●回答

管理者もそうですがまず設置をしていただく、何百件という数を一気に設置をするんですが、それについては一応管設備組合さんという、そういったことをやってみえる組合さんがあるんですが確認したところ、1年では当然無理でしょうけど、これぐらいの数なら何年かに分けて計画的にやるのであれば、それについては問題ないという回答をいただいておりますし、管理者の方についても、問題ないというご回答はいただいております。

#### ○委員

すいませんもう1個いいですか。合併浄化槽以外に今いろんな技術、私の家も合併浄化槽を入れてもう20年なるんですけど、もう、その当時からもう20年経ったということで、何か今新しい技術とか、合併浄化槽に代わるものっていうのは、逆にそのほうが高いかもしれないですけど、そういったものはないんですかね。

#### ○委員

より先端的な学術的な意見を言うと、そもそも浄化槽で処理できる排水除去能力っていうのは本当に最低限です。ただ、それは国として有機汚濁の除去とリン窒素除去を念頭に置いて、これぐらい除去出来ていたらいいですよという、そこは基準をクリア出来ているのでオーケーなんですが、それよりもっともったいい水質にして処理して出そうっていう技術はどんどん出てきてはいます。

ただし、それは実用上まだまだコストもかかるし、実際に使えるものには各家庭で使えるようにはなっていないという認識を一般的にはしていただいて結構と思います。なので、オプションとしては浄化槽で、簡単に言うと腐敗槽って言ってそのブローで曝気しないものでもいいわけで、途上国なんかでそういうところもありますけどそれだとやっぱり水質は悪いですし、なのでさっきお話にあった、電気料金はかかってしまうけれども各戸で、ブローで曝気をして一定の水準の水質にして出すということを、日本では浄化槽としてこれまでやってきていたわけです。説

明になったでしょうか。

●事務局

下水道料金の上げ幅 50%という水準については、今見ていただいたように譲れないところで、かなり上げ幅としては大きい上げ幅になるという試算をしておりますが、これを下げてくれと言われても、なかなかできることではないところで、いわゆる一般税金の投入ということになってしまいます。これについては皆さんどうでしょうか。

○委員

率からいうと大きいと思うわな。現状の数字を聞くとやむを得ないとも思うし難しいところや。だからさっき言ったように、税金と裏返しになってくるのでその辺をよく理解していかないといけない。

○委員

現状の料金体系だと使用料に対して 50%ですよ。総額じゃなしに。

●回答

これは後ほど説明をさせていただきますが、総額で 50%上げたいということで、ただ上げ方はいろいろあるかと思しますのでそれはまた後半で、説明をさせていただきますがまずこの 50 というラインだけはちょっと理解をしていただきたいというのが、まず前段部分の胆になろうかと思えます。

○委員

先ほど部長が言われたように、持続可能な運営をやっていくためには、ここでやっぱ市民皆が頑張らないとやっていけないので、そこは本当にわかってもらいたいし、わかってもらわないといけないと思うんですけど。それだけです。

●回答

当然説明会等々も決まれば、市民向けの説明会等々も当然開催をしますし、その中で何とかわかりやすい説明に心がけて行い、納得はされないかもしれませんが理解をしていただきたいというところです。

○委員

わかりました。

●事務局 資料に基づき説明

○委員

大口の使用料者と少量の使用料者によっても基本的に違うんだよな。これ考え方が。使用料の少ない人は基本料金上げるのには反対やし、大口の人が賛成ということで一律って難しい。難しいなこれは。どこかで落としどころを考えるしかないかこれは。立場によって全然違うな。

○委員

何か少量の人はそう使ってないので、余り上げるのはどうかみたいな感じで考慮してもいいんじゃないかなっていうのもあるし、いっぱい使えば割安になるっていうのも一般的な理論でそれもそうかなと思うし、まあ最終的に50%、20億生み出すためにどうするかっていう、それから落としどころの話かなと思うんですけど、ちょっといずれも一長一短あるっていうかどうかとちょっと思う。

前回聞いたときに下呂市の一般的な家庭で月に20立米、うちも多分それぐらいかなと思って、平均的かなと思ったのですけれど、それを今頭に置いてずっと聞いてたんですけど、試算②なんかはどれをとっても上がるには上がるんだなと思ったけど、試算③に行くと月に20立米で5,000円ちょっとだったのが、この試算③になると月に10,000円になってまって計算上やっぱりこういうふうになるんだなんて思ったし。②のほうの試算やと1,500円上がってみたり、1,200円上がってみたりみたいな感じで、月に1,000円か2,000円かどっかで上げないかんもんで、年間2〜30,000円かと思ってしゃあないななんて思って聞いてたんですけど。試算③になると毎月5,000円で年に60,000円かなと思って、ええと思ったんですけどという感想。まだ、よく考えてないもんで。

●回答

ごもっともでございます。今日いきなりこれを見せつけられてさあどうですかと問われても多分お答えは出来ないと思いますが、基本的にはやり方としては多分これぐらいしかないのかなと。ただ、先ほど会長言われたとおり、大口は小口はということでそれを言い出すとまた、どこかではやっぱり決めないといけないということで、実を言いますとこの下水が決まった後に、水道料金の方でもまたお話をす

るんですが、水道料金はもっとややこしいです。こんなものでは済まないぐらいややこしいです。

ただ取りあえず下水だけは一線は決めておかないと、今度水道の話になって、同時進行なんてことはとてもこれできる話じゃありませんので、下水でも最終的にはやっぱりどれかを選んでいただくというか、最終判断は市長がされますので、ただし、市長に持っていく意見として皆さんのご意見は参考にしたいということでお聞きしたいなと思っておるところです。

それぞれ皆さん、下水を使われているところばかりだと思いますので、それぞれいろいろご感想があるかと思いますが、一言ずつでも発言していただければありがたいなと思います。

#### ○委員

また浄化槽の話に戻ってしまって恐縮なんですが、まず下呂市での浄化槽の平均的人槽の分布ですかね、大体 5 人槽とか 10 人槽位の家庭用の浄化槽が大体一般的だとしたときに、それでやっぱりかかっているコストが、今回改定しようとするコストと大体同じぐらいの使用料のコストと、どれぐらいか比較できるものなのかっていうのも、今後浄化槽へ転換する地域も出てくるので、そういうデータというか、比較できるような情報があると見やすいのかなと思いました。

#### ●回答

浄化槽、何人槽がどれぐらい分布しているかはデータを持ち合わせておりませんが、5 人槽、7 人槽が 7~8 割というところかなと思います。

前回の資料をお持ちでしたら見ていただけますと、前回の資料の 2 頁に浄化槽の年間費用ということで、データは上げさせていただいており 5 人槽の場合ですと設置初年度は年間約 55,000 円かかりますが、以降は約 50,000 円ということで、月に換算しますと約 4,100 円が 5 人槽の場合の月の平均料金になりますので、それを参考にみていただければと思います。

#### ○委員

資料の中にそういう想定で、一緒のところにおいて比較表みたいなものを作っておいていただけると、考えがまとまりやすいかなとそういうふうに思ったという次第です。

●回答

わかりましたすみません。次回また資料準備します。

○委員

さっき大口やといっぱい使うと安くなるって、そういう料金設定って言いましたけど、勘違いするといかんでいっぱい買って割安になるのと違って、いっぱい使えば下水処理施設を使うんでお金がかかるんで、逆の考えにするといっぱい使ったらいっぱい取る。〇〇委員を前にあんまりしゃべりにくいんですけど、そういう考えもあるのかなと思って、ちょっと何度も勉強不足でようわからんと思ったんですけど。

下水の個々の使用量を落とせばそれなりに助かることは助かるんですか。もし皆1割下水が減らしたら、多少支出が変わってくるんですかね。下水の出す下水の量を下呂市民が何らか工夫して1割節水というかそんなふうになったら、単純に1割は減らないと思うんですけど、そんなのは全然焼け石に水か全然関係ないんですかね。

○委員

私から説明していいかわかんないですけど、恐らくお考えの逆ですね。

今人口が減少してきていて、そもそも下水処理施設っていうのは余裕を持たせて水量を受け入れるように設置してきていたわけです。なので、たくさん水が入ってきてその分使ってもらっているから使用料金も上がりますという収入も増えると思うんですけど、たくさん水が入ってきて処理したほうがそもそもちょっとの水を下水処理施設で除去するのは効率が悪いんですよ。たくさん受け入れてたくさん処理するほうが電力効率的にもいいですし、そのほうがいいので1割水量は排水量を減らしたからどうなるかという逆で効率も悪くなるはずですよ。この説明で正しいですか。

●回答

下水使用量が減るということは、水道使用量が減ることですので、水道料金についても今言われたように施設の効率が悪くなるということですので、私どもとしてはどんどんどんどん入れていただきたいというのが本音です。以上です。

○委員

結局この大口というのはこの前も課長らと話をした。いわゆる下呂の今の下水道料金、旧下呂の場合のこの我々事業者といっても大口って言っても、旅館の場合と

全然その算定の仕方が違うじゃないですか。この試算はそれを無しにして全くつくような状態でということですよ。そしたらやっぱりかなり、大きくなればなるだけって言ったら、それはかなりの反発というよりも負担が大きくなるんで、それでなくてももう今下水も水道もそうかもしれませんけど、これだけ電気料金は上がるガスが上がる何が上がるということで、もうエネルギーコストがどんどんどんどん上がってきている状況の中で、さらに負担をとというのは、事業者側からすると非常にやっぱりその説得がかなりの何ていうんですかね、この方式をもし採用されるんならかなりの本当に至難の業だと思いますよ。ただ、今日ここで話にですすぐ決めるってものではないんで、そこはある程度時間かけながら、試算をしていかなきゃならんのかなと思いますけど。

先ほどの合併処理槽の話でやっぱり、私も事業所でももう当然年数がたてばプロアが駄目になりあれが駄目なりってということで、もうそういう更新時期には来ていることもありますので、ただ家庭の方があの例えばやっぱり何十年使ってたらやっぱりその更新しなきゃならないっていうようなことも、そういうことも全部もうプラスの面もマイナス面も全部さらけ出して説明しないと、今度次の世代の方が「いやそんなことは」っていうことになりかねないんで、そこはやっぱりかなり何ていうか丁寧な説明が必要だと思います。私も個人の家庭ということでその立場に帰っていくとそれは考えると思います。

## ○委員

受益者のそれぞれのことを考えよるとなかなか調整が大変やと思うので、僕の方としては今現行でやられとるやつが、1番いいのかなという気がします。

水道も下水も、家はちょっと田舎なんで昔はどうやったかなって思いながら、山水とったときには本当濁るし、この頃災害や大雨降りますけど、それでも全然濁らないですし本当にありがたいと思っております。

昔ポットンでやっとなる頃は、本当に大変であって環境も悪かったなあと思っていますが、今は合併槽なんでちょっと水のきれいさにも貢献しとるかなという思いはあるんですが、とにかく受益者のことで、この人達はこの人達はと考えていると、なかなか大変でないかと思うので、「えいやっ」というくらいの感じで、とにかく皆で維持管理していくには大変やろうけども、頑張っていけないといけないという気持ちでないと、なかなか決めかねると思います。という意見です。

## ○委員

ガスとか電気なんかを上げましたよって言って、もはや即きて文句も言わずに、上がってどんどんまた上がってガスなんか二度三度上がってきているんですけど、やはりこの下水道、水道というのは、やっぱり市がなかなか大変だと思うんです。文句もいっぱい各皆さんから出てくると思いますが、今その税金を使ってでも、支払っていることをまず皆さんに市民の皆さんに知らせることは1番私も大事なことで、やはり無理のないやり方で私もこの試算の①の2回に分けてってというのがなんか優しいかな、見た目が優しいかなというふうに、主婦やらには何となく優しいかなと。

あと、高齢者世帯がうちの地区にも多いですから、やっぱり使ってないんです。なので、ちょっと基本料金を少し上げて超過料金をちょっと上げてって形が、何となくやわらかく最初あたりがいいかなというふうに思います。

それで、2度目また上げるってなるとまたちょっと大変なのでその辺また問題なんですけども、上げるならもう今ここで、値上げのところちょっと大変は大変ですけども、本当にこのままでいくと、本当にこの先だんだん人口が減ってきて大変なときになってくるので、今ここでやはりある程度のことは皆さん市民に、納得は出来ないかもしれないけど、少しずつ上げていくような形でちょっと様子見るのもいいかなという感じは受けます。

## ○委員

私も今の〇〇委員のように徐々に行くのがいいんですが、この市としての計算は、10年間で22億の累積赤字補填ということで、この22億を補填するために今この改定料金をされるということで考えてよろしいですか。

そうすると10年後これがチャラになる計算じゃないですか。単純に考えると。その後どうされるのかとか、まず二段階やるならこれが何年度ぐらいまでの計算で、その二度目が何年ぐらいからの予定だというようなお話も今なかったんで、その辺といつまでに解消すればいいのか。以後についてはもう、現状の経費だけを賄えばいいのか。その辺のところを教えてくださいたいと思います。

## ●回答

いつ上げるというタイミングは、当然私どもから言えば一遍に上げたいというのが本音ですが、やはり今言われたとおりなかなか率も高いですので、何年かに分けて上げるということもあらかじめ言っておけば、まだまだ理解は得られるのかなと。今上げるだけじゃなくて、例えば令和6年に一旦どれだけか上がって、その3年後

にもう 1 回上がりますよというのをあらかじめ示しておけば、ある程度理解はされるのかなと。ただ、さっき言ったように、水道料金がどうしてもまたどっかで絡んできますので、それとも兼ね合いをいろいろ加味しながら検討しなきゃいけないかなというところで、今ここでいつ上げるというのはちょっと、タイミング的にも、お示しすることが今出来ないというところですよ。

あと、6 年から 15 年までの期間の算定をさせていただきました。この次については、また当然この今の試算や料金をもっと下がってきたということも、これは考えられますし、施設の維持管理費は多分それほど余り変わらないかなと。施設が減ってくれば当然安くなってきてもうちょっと今よりかからなくなると思うんですが、この料金の試算というのは、今のコロナみたいなことがあったり、何かあるかももう本当に読めませんので、これについてはやっぱり 10 年、やっていく中でまた途中で検討するしかないかなというところですよ。

#### ○委員

今の委員のご質問の意図は、その令和 15 年の算定期間の後に、10 年 20 年たてば、この赤字の膨らんでいくような流れが解消されていくのか。どうなっていくだろうという見込みが見えないと、この 22 億円をこのやり方で解消しちゃったってその先の、また 10 年 20 年たてばまた 20 億の負債を抱えるんだったら、次新しい手を打たなきゃいけないんでという、そういう意図がある質問だったと思うんで、もちろんそれが予測は出来ないのは分かるんですけど、何かその見込みを何かしらの形でお示しいただきたいということだったと思うんですが。

#### ●回答

すみませんちょっと理解が足りず。試算では、ここで上げれば当分大丈夫という、当分はこの料金でいけるという、試算はしております。

#### ○委員

ありがとうございます。それを、どういうシナリオというかどういう条件で、こう考えたよということは前提であると思うんですけどその上で、一応数字定量的に何か見える形でお示しいただくと、イメージが付きやすいのかなというところだと思いましたが、難しいとは思いますが、そういうことだと思います。

○委員

ちょっと今のお話を伺いながら思ったんですが、先ほどの幸田の処理場の耐震化、それと当然中の処理設備もかなりもう年数経っているので、当然更新の時期に来ていると思うんですよね。湯之島もいずれそうなると思うし、竹原の方もそうだと思うんですけど、その辺のことを全部これ中に織り込んであるんですか。

●回答

基本的に15年までの分については見込んでおります。

○委員

そういうのって大体、耐用年数ってある。どれぐらいのもんなんですかね普通。

●回答

耐用年数は建屋ですと50年ということですので、ただ幸田の場合はちょっと耐震診断をした結果あまりよくないということで今取りかかるんですが、当然、同じような時期に建った湯之島も同じような、50年経つ前に同じような状態になることは見込まれますのでその辺についてはもう今織り込み済みということでご理解をいただきたいと思います。

○委員

いろんな計算をされていると思って聞いておるんですけど、やっぱり見える資料がないもので今の質問も。1年後とは言わないけども5年後10年後、15年20年後、せいぜい30年かな、その間にこの施設でここが耐用年数も来ているんでこの辺で、10年後にはこの施設で、現時点での予測なんで、あつていようが間違つてようがいんですけど、それに対して人口減少がこうなんで、使用料収入もこんな感じだろうみたいな、それを踏まえてのだからそれがあると10年後、15年後、22億が何とかなればその後はほぼほぼ、今の現時点での試算ではほぼちょんちょんで、大きな改修ももうやってしまったしというのが見えるのかなと。先ほどから出ているそういったものもあればわかりやすいのかなって思うんですけど。

●回答

わかりました。もうちょっと資料は工夫して見せたいと思います。すみません。

○委員

5 頁にある減価償却とか増えているんじゃない。新設のところとかそういうものはもう計算されてみえるんじゃないですか。

●回答

おっしゃるとおりです。ただ、ちょっとこれは専門的な話なんですがこの 5 頁の表は、いわゆる収益的収支のみしか上げておりません。当然この下に資本的収支という同じような表があるんですが、あくまでも料金算定の目安としてこの表しか上げていないのですが、この下にある資本的収支の欄には、当然この減価償却に新規で上がった分だけの投資をしとるという計画は上げておりますので、表が大きくなるというようなことで今回ちょっと割愛させていただきました。この減価償却費で新設分として、どんどんどんどん上がっていると思うのですがこれは当然、新しく改良に手を加えた分だということで、おっしゃるとおりです。

○委員

そういったことが先ほども説明の中でちらっと何だ、もう大きな改修が済んでいるのでという説明はあったんで、例えばその表にするかしないかは別として、そういうこういったものは入ってますと、これを含んでますっていうのが書いてあれば、同じような質問が出ないのかなと。

●回答

当初言ったとおり、今日ここですぐ結論を出すとかどれか選べというお話ではございません。やり方としてはこういう方法でこういうふうになるよというのを、今日お示しさせていただきましたので、次回会議のときまでにまだ資料が足りないとかわからないということがあれば当然こちらからお示ししながら、皆さんのお考えをまたお聞きしたいなと思っております。

皆さんに全てを選べということではありませんので、そこまで重責であるというようなことではなく、市長が判断する意見の一つとしていろんなご意見をお聞きしたいというところがございますので、一旦持って帰っていただいて、こういう方法もあるんでないのというような、もし案なり考えがあればまた教えていただければ、またお示しできるかと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○委員

今飛騨市の方は、まだなかなか決まってはきてないですか。これは、大分前からもう新聞に出ていて、改定のやつが出た後に下呂市もこうやろうというふうになっ

ているんですけど、飛騨市はどんな形で今あるんでしょうか。

●回答

すみませんちょっとその後の情報は聞いておりませんが、昨年新聞に出たときは来年度に上げるということでしたから、丁度今上がっておるのかなというところですが、あれは水道料金だけです。

(田口環境水道部長)

先ほど料金体系の話が出ましたけれども、それぞれ皆さんのお立場の生活に関わることということで、大まかな考え方としてはたくさん使う人に対してどう考えるかっていうことと、いわゆるあまり水を使わない方っていうのは、高齢者であったりだとか、それから生活がそれほど質素というかそういう方を背景にあって考えるか。全体として平均的にとらえるのか、あるいは経済を優先するのかっていうようなところが背景にあると思われまますので、そのような裏の状況とかですね、そういったことも皆さんの立場でもし分かる情報があれば教えていただければというふうに思います。

●回答

飛騨市のホームページを見ましたら、料金を今上げたということでホームページ載っておりますので、2月検針後に使用された水量から新料金となりますとありますので、もう今上がっておるというところですよ。

○委員

確認なのですが、飛騨市の改定は水道ですね。下水ではないですよ。飛騨市はそれで累進を使っているってということなんですかね。

●回答

そうですね。もともと使用水量によって単価が違っていたのですが、更にもっと上げてということですので、11から20立方メートルまでが160円、21以上が190円という単価で今やっておられるみたいですよ。

○委員

先ほど途中の議論で累進という方針も考えられるよって事もあったんですけど、

今下水のほうの話をしている中でやっぱり下水のほうは、たくさん使用してもらって集めて除去するほうが効率がよかったわけです。それが効率が悪いけど集合処理集約処理がしづらい場所で、山間部だったりだとか、管を伸ばしにくいところで、合併浄化槽を使用するというそういう基本的な考え方があるので、どうしてもやっぱり排水処理下水処理っていう観点では、少量利用者が少しかうコストとか高くなってしまふことは、基本的概念からするとしょうがないところがあると思います。それは技術論的な話で言っても。ただそこに社会的な状況とか配慮があるということを念頭に置いていただくといいのかなと思っていて、だから水道料金を上げるというそういう話になってきたときには、大口の方に少し負担いただくという背景はすごくよく分かるんですけど、排水処理下水処理の観点で今回の議論の上においては、なかなかやっぱりそれは大量に使っているからといって大口利用者がたくさん配慮しなきゃいけないということは、少し考えづらいような状況なのかなというところが考えられるのかなと思います。

いますみません。部長からのお話があったんでそういう考え方なのかなというふうに、一般論的にちょっと申し上げました。

## ② 次回の運営委員会について

### ●省略

## ③ 運営委員会補充について

### ●事務局 説明

委員の欠員に伴う補充なんですけど、運営委員会の規則では、運営委員は 13 人以内で組織するとありますので、欠員の状態でも特段問題はないんですけど、上下水道料金というところで幅広くご意見をいただきたいものですから、できれば補充をしたいなというのが考えです。

一応、地域ごとに人数割り振っておりますので、下呂地域でもしどなたかご推薦をしていただけるような方があれば、また事務局のほうからお話をさせていただきますが、もしあればご発言をいただきたいんですけど。

### ○委員

今の委員の名簿を見とると、旧下呂町は竹原とか上原とか中原とかそっちの人が 1 人も入っていない。そっちのほうの人には入ってもらったらどうかと思う。委員が

団体から選ばれてきたわけではないのなら、一般住民の方でも、大口事業者でもいいからそっちのほうから1人入ってもらったらどうかと思います。

●回答

はい会長おっしゃられるとおりで、下呂地域の方はいわゆる上水道区域の方ばかりです。当然今度水道料金、簡水、上水統合という話になりますと、やはり簡水区域の方、下呂地域の簡水区域の方もおられたほうがいいかなってというのは、事務局の意見です。

○委員

上水地域以外の地域から一人出てもらったほうがいいと思います。

○委員

事務局もその説明会のときは回って歩くわけやろ。ならできるだけ多くの地区から委員を選んだほうがいいわけじゃないの。

●回答

そのほうがありがたいです。

○会長

じゃあその方針でやってください。

## 4. 閉 会

●事務局

会長それでは閉会のあいさつをお願いします。

(会長)

この後の予定も混んでいるようですので、水道の方も大変だろうけどやってもらいたいと思います。今日は長時間ありがとうございました。

(委員・事務局)

ありがとうございました。